

『なぜ、援助職は疲れるのか』 ～感情労働から自分を見つめる～

主催 中区自立支援協議会精神部会
共催 中区障害者団体連絡会

困難を抱える人を身近な立場で支援していると、本当にこれでよいのかと悩み、自身の心のゆらぎに疲れてしまうことがありますか？ 私たちは日々、自分の感情を活用しながら支援をしています。今回は「感情労働」という言葉をキーワードに、支援者のセルフケアに着目し、自分のことも大切にできる支援に取り組めるヒントを見つけて頂ければと思っています。

日 時：令和元年度12月18日（水）18:00～20:30
（受付17:30～）

会 場：中区役所7階 大会議室
講 師：長谷川 俊雄 先生（白梅学園大学教授）
参加費：無料
定 員：90名

1981年 横浜市入庁 社会福祉職として勤務。その後、精神科クリニックのソーシャルワーカー等を経て、2010年より現職。〈経済的貧困〉〈関係的貧困〉〈実存的貧困〉〈制度・資源的貧困〉の緩和・解決を志向するソーシャルワークを専門・実践領域としながら、不登校・ひきこもり・虐待・非行、病気など、さまざまな生きづらさを抱える人の居場所づくりなど、常に現場実践を大切にしながら研究と実践に取り組んでいる。
著書多数。NPO法人つながる会・代表理事。
認定NPO法人フリースペースたまりば・副理事長。



お申し込み：裏面申込書に記載の上、FAXまたはe-mailで12月4日（水）迄
お問い合わせ：精神部会事務局（担当） 長尾・岩崎・松野

☎045-624-0276 FAX045-624-0183

e-mail:nakaku.s.c-jt@ae.auone-net.jp